



スクールレポート

SCHOOL REPORT 26
学校生活の一コマ
を紹介

今回は学校生活の中から、「祖父母学級」と「かぶとのいえ」
をご紹介します。

●学校教育課 ☎23局3679

赤羽根小学校「祖父母学級」

おじいさん、おばあさんといっしょに学ぼう！

赤羽根小学校では、6月3日(木)の学校開放日に、恒例の祖父母学級を開催しました。4時間目の授業には、多くのおじいさんやおばあさんが参観されました。各学年では、紙ずもうや百人一首、茶摘み唄、豆つかみ競争、麦の穫り入れ、お手玉づくりで、子どもたちと触れ合うほほえましい姿が見られました。

ランチルームで食べるこの日の献立は『親子煮・野菜のごま和え』でした。保健給食委員の子どもたちは「にんじんの会の方々が育てた、たまねぎ・たまご・キャベツが使われています」と食材を紹介しました。その後は、祖父母の皆さんと揃って「いただきます」。新鮮で安心・安全な食材に感謝し、みんなで食べる給食は、楽しく和やかなひとときでした。

午後は、体育館で縦割り班ごとに集まり、食に関するDVDを視聴しました。保健給食委員会の進行で「野菜・くだものビンゴゲーム」も行い、食育への取り組みを地域へ発信するよい機会となりました。

※にんじんの会…地元の農家で組織された市民グループ



●5年生が祖父母と麦の穫り入れを行いました



●「野菜・くだものビンゴゲーム」を楽しみました

神戸小学校「かぶとのいえ」

「魅力ある学校づくり事業」カブトムシを育てよう!



●この中でたくさんのカブトムシを育てています



●立派なカブトムシに育てることができました

神戸小学校では、学校に隣接する森林「神戸っ子の森」で、子どもたちが自然に親しむ環境づくりを、少しずつ進めてきました。昨年の7月には、市内小中学校独自の活動を支援する「魅力ある学校づくり事業」で、新たに「かぶとのいえ」が誕生し、子どもたちが一生懸命にカブトムシの世話をしてきました。ところが、昨年10月の台風18号により、この森も大きな被害を受け心配していました。

春になり、みんなでドキドキしながら腐葉土を掘り返してみると、カブトムシの幼虫がころころと出てきました。子どもたちは、手のひらに乗せ大きさを比べたり、観察したりして楽しい時間を過ごしました。梅雨に入ると、幼虫は一切見られなくなりました。しかし7月初め、1年生から「カブトムシを発見！」の一報が入りました。暑さが増すにつれ、カブトムシは次々に姿を現し、子どもたちを驚かせています。少し小ぶりですが、黒光りした立派なカブトムシです。「かぶとのいえ」を通して、子どもたちが自然や生き物にっそう目を向けてくれることを願っています。